SONY

3-861-053-03 (1)

ビデオカメラレコーダー 8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Video 8
Handycam

CCD-TRV513K

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面について

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。

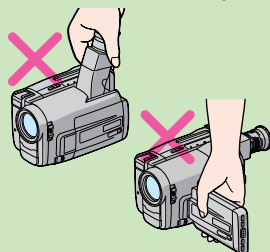
本書内の写真について

液晶画面やファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
ファインダー内に見える映像は白黒です。

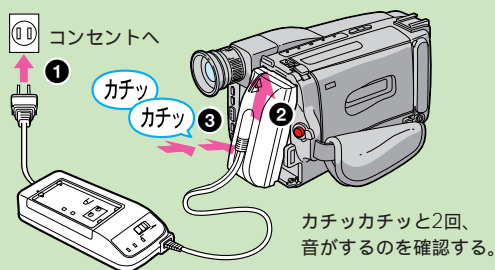
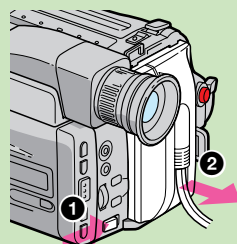
目次

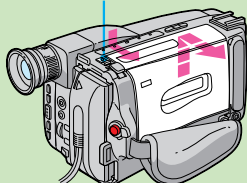
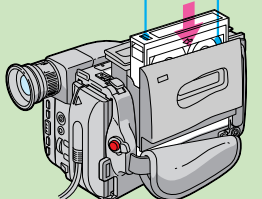
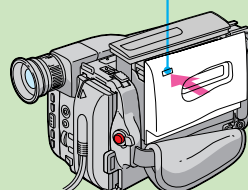
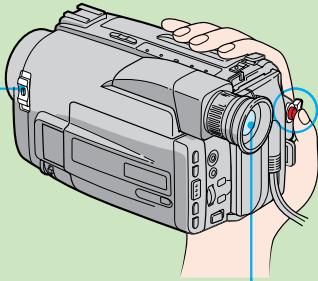
とにかく撮って見る

必要なもの

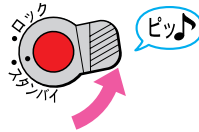
ビューファインダーや液晶画面をつかんで、本機を持ち上げないでください。

1 電源をつなぐ（34ページ）

屋外ではバッテリーを使います →8ページ

カチッカチッと2回、音がするのを確認する。

接続プレートをはずすとき
バッテリー取りはずしボタンを押しながら、接続プレートの下部を手前に引く。

2 カセットを入れる（10ページ）

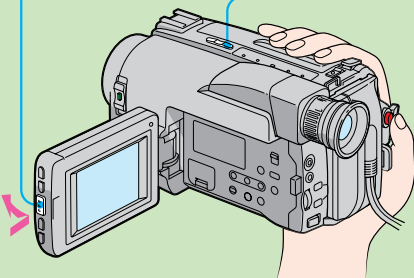
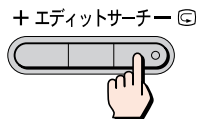
❶ **カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。**

❷ **テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にしてカセットを入れる。**

❸ **PUSHマークを押して、カセット入れを閉める。**

3 撮影する（12ページ）

ファインダー
この部分に目を当てて
画像を見ます。

❶ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

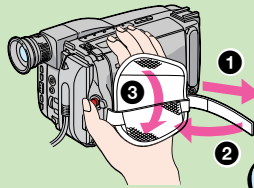
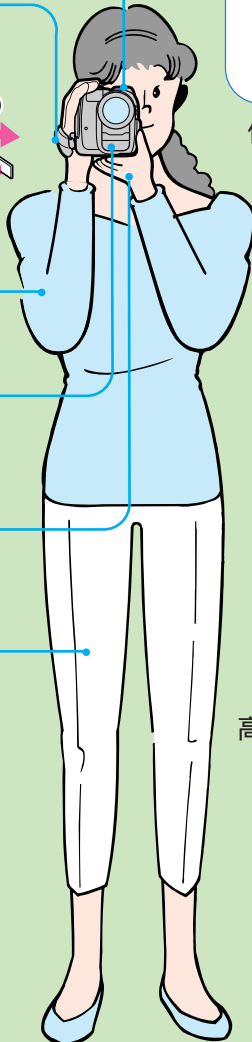
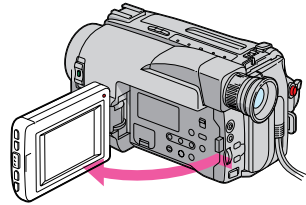
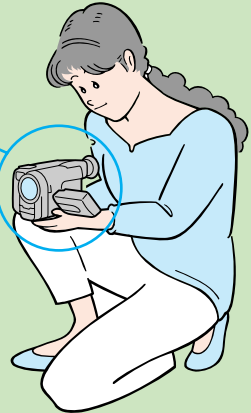
❷ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

❸ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。

もう1度押すと止まる。

4 撮影できたか、ちょっと確認する（17ページ）

❶ 液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。

❷ エディットサーチ⊖ボタンをポンと1回押す。
最後に撮影した場面を数秒間液晶画面で見られる。

本機の機能が一覧できるデモンストレーションが見られます（38ページ）。

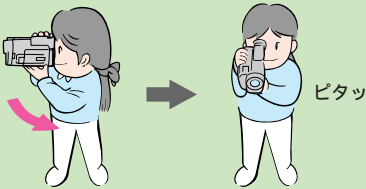
うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。

撮影の基本

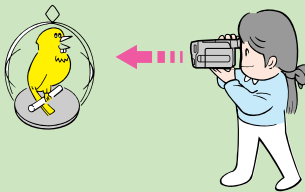
ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。

ズームは多用しない。

ズームレバーをW側（Wide（ワイド）：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側（Telephoto（テレフォト）：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。

安定した画面にする。

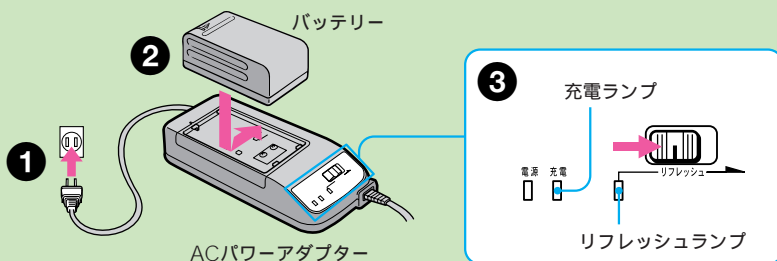
- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。

- 三脚を使う。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

うまく撮る姿勢

準備1 バッテリーを充電する

バッテリーは充電して使います。

ご注意

バッテリーを使い切らずに充電すると、容量低下の原因になります。なるべく、リフレッシュ（放電）してから充電しましょう。
急いで使いたいときは、リフレッシュスイッチを動かさなければリフレッシュせずに充電できます。

バッテリーに充電確認マークがついているときは
充電済みなら「無印」側に、使い切ったら「●」側にする習慣にしておくと、ひと目で充電済みかどうかわかり便利です。

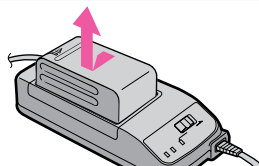
❶ コンセントにつなぐ。

❷ バッテリーを押しながら右にずらす。

❸ リフレッシュスイッチを矢印の方向へ押す。

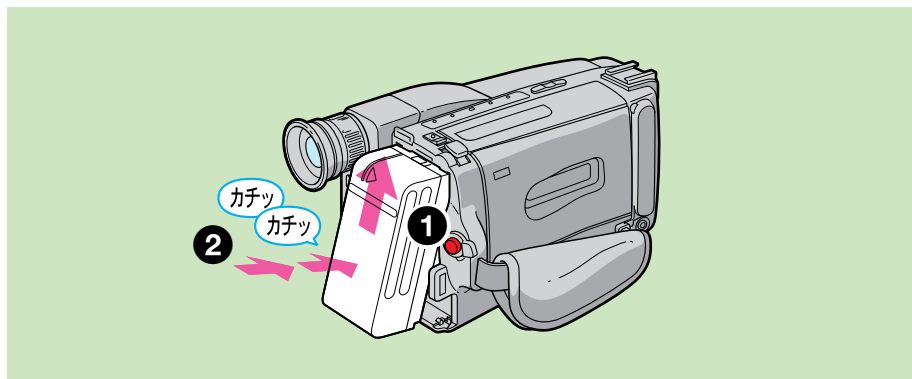
リフレッシュランプが点灯し、リフレッシュ（放電）が始まる。リフレッシュが終わると、自動的に充電が始まり、充電ランプが点灯する。充電が終わると消える。

充電器から取りはずす

バッテリーを左にずらす。

充電時間の目安

バッテリー	リフレッシュ時間*	充電時間**
NP-S1（付属）	11時間20分	3時間25分
NP-65/C65	4時間50分	1時間35分
NP-90/90D	10時間15分	3時間15分
NP-L90D	（リフレッシュ不要）	2時間30分

* リフレッシュ（放電）時間は最大値です。
** リフレッシュしてから充電に要する時間。

準備2 バッテリーを取り付ける

液晶画面とビューファインダーの両方を使って撮影するとき（15ページ）のバッテリーの使用時間は
液晶画面を使っての撮影時間より若干短くなります。

バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

❶ **バッテリー取り付け面の上部に、バッテリーの上部を押し付ける。**

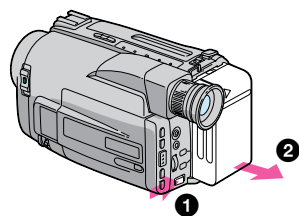
❷ **バッテリーの下部を、カチッカチッと2回音がするまで押す。**

バッテリーは本体に確実に取り付ける。

本体から取りはずす

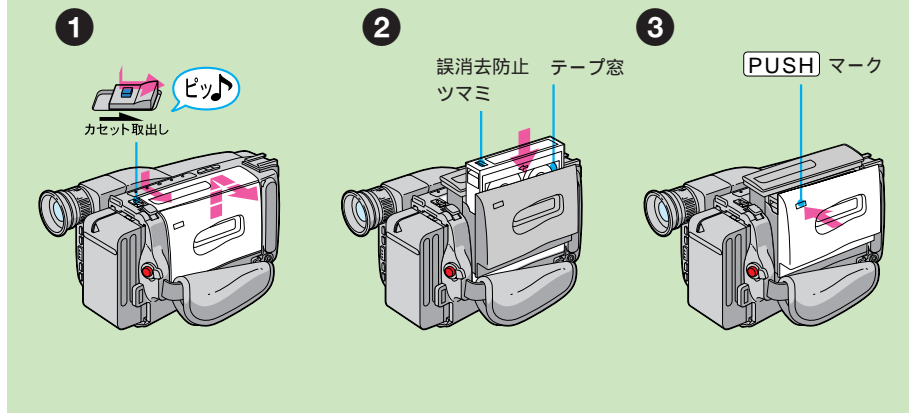
バッテリー取り外しボタンを押しながら、バッテリーの下部を手前に引く。

使用時間の目安

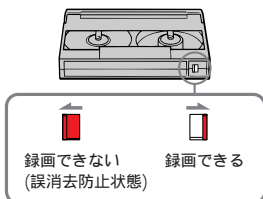
バッテリー	ビューファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-S1（付属）	6時間	3時間20分	4時間15分	2時間20分
NP-65/C65	2時間55分	1時間35分	2時間	1時間5分
NP-90/90D	5時間30分	3時間	3時間55分	2時間10分
NP-L90D	6時間	3時間20分	4時間15分	2時間20分

* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

準備3 カセットを入れる

本機はスタンダード8ミリ🅱方式で記録します。Hi🅱（ハイエイト）テープを使っても、8ミリ🅱テープを使っても、Hi🅱方式でなく、スタンダード8ミリ🅱方式で記録します。8ミリ🅱テープをおすすめします。

ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
  はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。

1 カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に上がって開く。

2 カセットを入れる。

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。

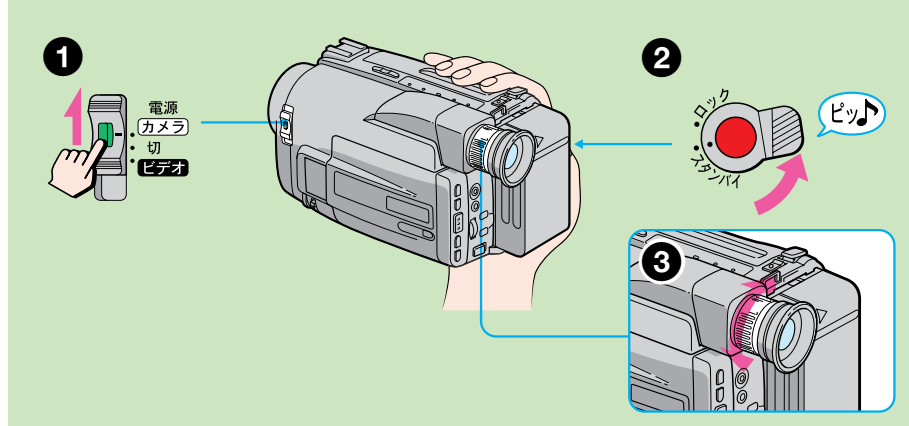
3 PUSHマークを押して、カセット入れを閉める。

カセット入れが自動的に下がる。

カセットを取り出す

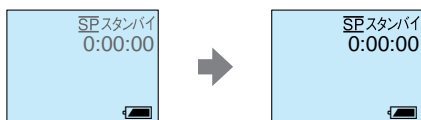
「カセットを入れる」の手順で操作し、手順2で取り出す。

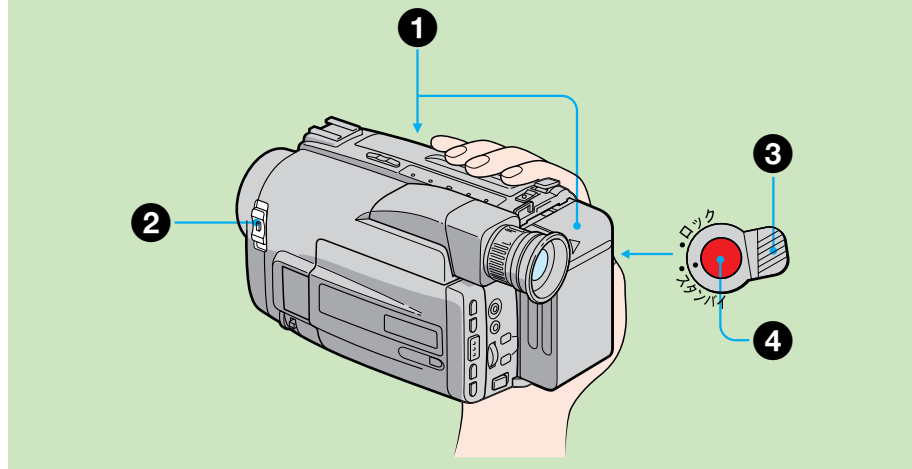
準備4 ファインダーを調節する

ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。

❶ **緑のボタンを押しながら、「カメラ」にする。**

❷ **スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。**

❸ **視度調節リングを回す。**

ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

ファインダーや液晶画面、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

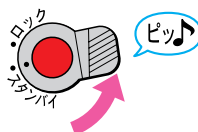
テープの最初から撮影するときは

15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

❶ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1～4」（8～11ページ）をご覧ください。

❷ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

レンズカバーが開く。

❸ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても、撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換はスタンバイスイッチを「ロック」にしてから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるにはスタンバイスイッチを一度「ロック」にしてから、「スタンバイ」に戻します。

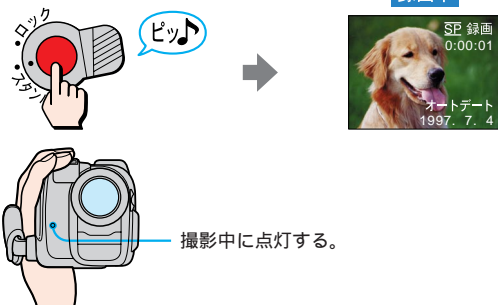
テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します。

長時間録画したいときは
メニューの「録画モード」を「LP」にします（38ページ）。録画時間がSP（標準）モードの2倍になります。

オートデート機能
1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます。
記録が終わると「オートデート」表示は消えます。次のときはオートデート機能が1日に2回以上働きます。
- 10秒以内に撮影を止めたとき
- カセットを入れ換えたとき
- メニューの「オートデート」を「切」にしたあと再び「入」にしたとき
- 日時を合わせ直したとき

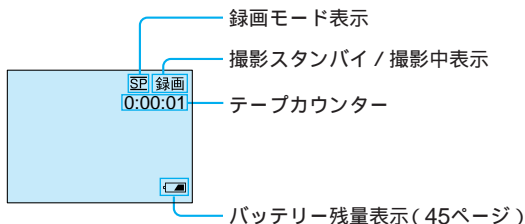
オートデート機能を解除したいときは38ページをご覧ください。

❹ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。ピッ♪
もう一度押すと止まる。ピッピッ♪

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

撮る

ご注意

「5秒」「地面撮り防止」を選ぶと、フェーダーボタンは働きません。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき

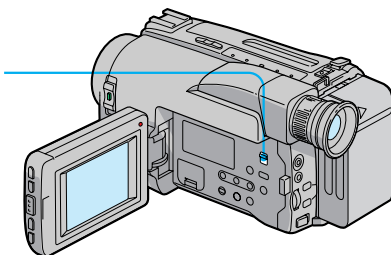
ファインダーに「●●●●●」が出て1秒たつごとに●が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには●がすべて消えてしまわないうちに、もう一度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは

ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて

- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は60倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（36ページ）。

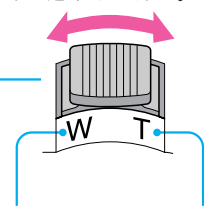
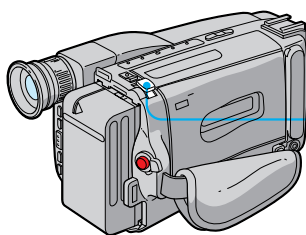
スタート/ストップモードを選ぶ

：スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

地面撮り防止：

スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。地面撮りを防ぎます。

5秒：スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

ズームレバーを動かす。

使いすぎると見づらい作品になります。

15倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側がデジタルズームになります。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は

屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。
ビューファインダーでのご使用をおすすめします。

対面撮影では

液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は

以下の機能は働きません。

- メニューボタン
- タイトルボタン
- 日付ボタン
- 時刻ボタン

対面撮影中の表示

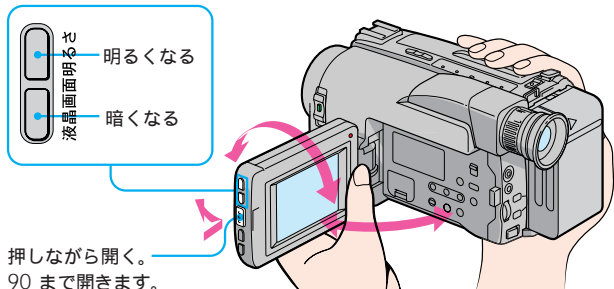
撮影スタンバイ中は●II、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

液晶画面を見ながら撮影する

液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。

前方向に210 まで、手前に90 まで回転し、角度を調節できる。

液晶画面の明るさを調節する

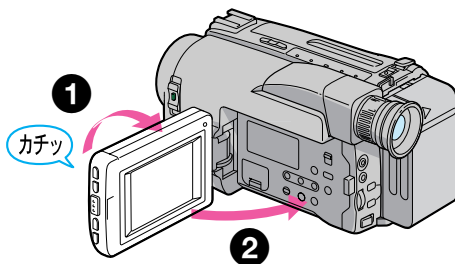
液晶画面明るさボタンを押して調節する。

液晶画面を見せながら撮るー対面撮影

液晶画面を180 回転させると、相手に自分が撮られている映像を見せながらビューファインダーをのぞいて撮影できます。本体を固定しておけば、液晶画面を見ながら自分もいっしょに映ることもできます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
液晶画面を180 回転させる。
対面撮影モード表示 ☺ が出る。

❷ **撮影する。**

液晶画面を閉じるとき

液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻す。

撮影が終わったら

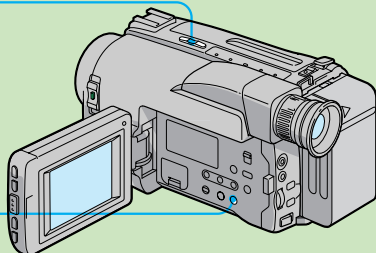
1 **スタンバイスイッチを「ロック」にする。**
2 **カセットを取り出す。**
3 **電源スイッチを「切」にする。**
4 **バッテリーを取りはずす。**

撮影内容を確認する

撮った画像が気になるときや、最後に撮影した画像からつなぎ撮りしたいときに使います。

エディットサーチボタン

エンドサーチボタン

撮る

ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

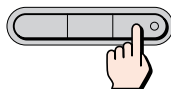
長い内容を確認したいとき
電源スイッチを「ビデオ」にして、液晶画面やファインダーで再生画像が見られます。操作は18ページ「再生する」の手順2から5までと同じです。

撮影後、カセットを取り出すと
エンドサーチの機能は働きません。

エンドサーチとは？
本機では、録画後にカセットを取り出すまで、録画を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。カセットを取り出すと位置の記憶が消えるので、エンドサーチが働きません。

最後の場面を確認する－レックレビュー

［撮影スタンバイ中］に

エディットサーチボタンの－側をポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。

スピーカーまたはイヤホンで音も確認できる。

正方向または逆方向に再生する－エディットサーチ

［撮影スタンバイ中］に

エディットサーチボタンの再生したい側を押し続ける。

指を離したところが、次の撮影開始点になる。
音は出ない。

最後に撮影した終わりの部分に戻る－エンドサーチ

［撮影スタンバイ中］に

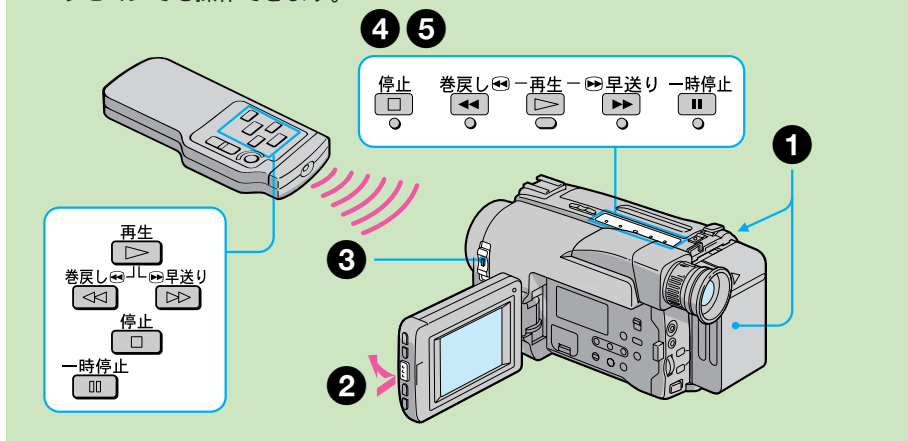
エンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。

スピーカーまたはイヤホンで音も確認できる。

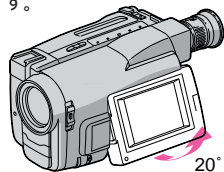
再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。ファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

❹ ❺
停止 巻戻し 再生 早送り 一時停止
❶
❸
❷
再生
巻戻し 早送り
停止
一時停止

ご注意

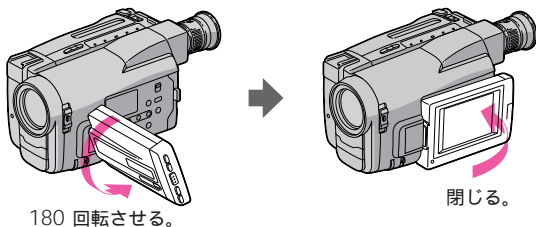
- 電源スイッチを「ビデオ」にすると、レンズカバーは開きません。手で開けないでください。故障の原因になります。
- 外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

液晶画面を閉じると
スピーカーから音が出ません。液晶画面を外側に向けて閉じているときは、音が出ます。

液晶画面が見にくいときは
液晶画面の角度を調節します。

20 まで回転します。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ 液晶画面を開ける。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

❸ 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。

ビデオ操作ボタンが点灯する。

液晶画面での再生時間の目安

バッテリー	再生時間
NP-S1（付属）	4時間15分
NP-65/C65	2時間
NP-90/90D	3時間55分
NP-L90D	4時間15分

低温では使用時間が短くなります。

❹ 巻戻しボタンを押す。

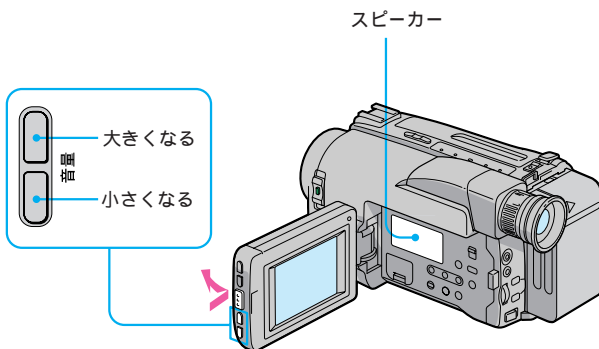
巻き戻しが始まる。

❺ 再生ボタンを押す。

画像が映る。

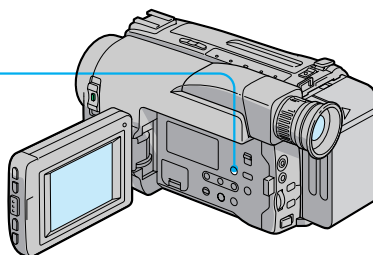
音量を調節する

音量ボタンを押して調節する。

イヤホンの音量も調節できます。

カウンターなどの表示を出すー画面表示機能

画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。消すときはもう一度押す。

電源スイッチが「カメラ」のときは、押すと表示が消せます。

変速再生中は
音声は出ません。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度▷再生ボタンを押します。

いろいろな再生

止める
［再生中］に□停止ボタンを押す。

静止画を見る
［再生中］に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう一度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする
［停止中］に▶▶早送りボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

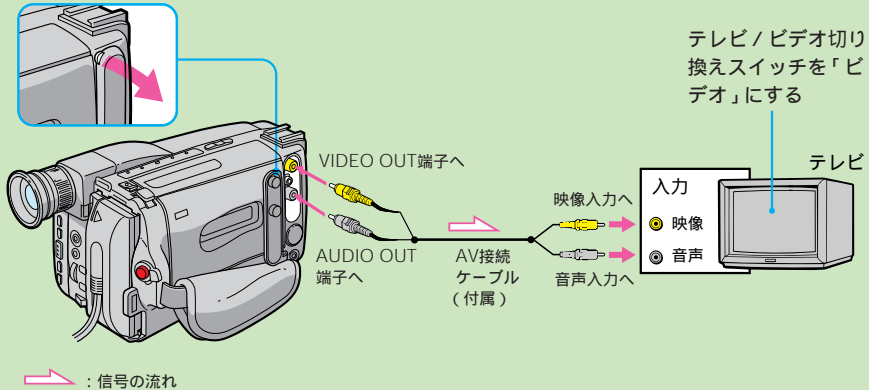
巻き戻す
［停止中］に◀◀巻戻しボタンを押す。
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする
［再生中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）
［早送り中］または［巻き戻し中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）
［停止中］にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（34ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

テレビで見るときは
- 液晶画面を閉じてください。
- カウンターなどの表示はテレビ画面には出ません。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

テレビがステレオのとき

AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグを、テレビの音声入力左（白い端子）だけにつなぎます。

映像／音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプターでつなぐ。

テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。

見る

フェードイン・フェードアウトする

白画面から徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）する演出ができます。

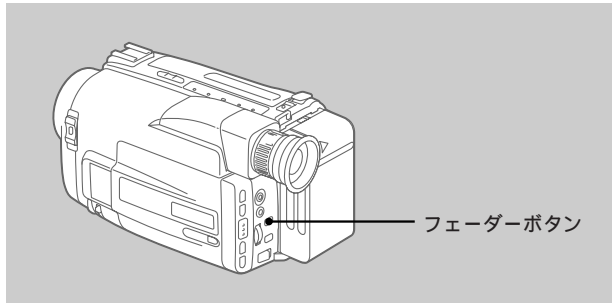
例：フェードイン

こんなときに使うと効果的です

- 大きな場面転換（フェードイン・フェードアウト）
- 物語の始めなど（フェードイン）
- 一日の終わりなど（フェードアウト）
- 余韻を残して終わる（フェードアウト）

フェードを多用すると
被写体の状況がわかりづらくなり、見づらい映像になります。

タイトルや日付、時刻表示にはフェードは働きません
不要の場合はタイトルや日付、時刻を消してから行ってください。

スタート／ストップモードが「⊥」または「5秒」のとき
フェードイン・フェードアウトはできません。

1 • フェードインは [撮影スタンバイ中] に
• フェードアウトは [撮影中] に
フェーダーボタンを押して「フェーダー」表示を出す。

2 スタート/ストップボタンを押す。

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタート／ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、フェーダー表示を消す。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

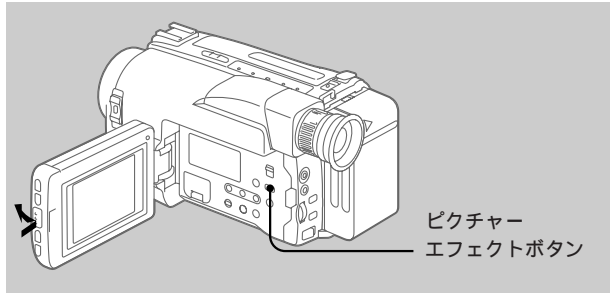
画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

モザイク
→タイルを組み合わせたように

ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクトは
電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。

[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
ピクチャーエフェクトボタンを押して、希望のピクチャーエフェクト表示を出す。

モザイク

次の順で変わります。
モザイク→ソラリ→モノトーン→セピア→ネガアート→表示なし

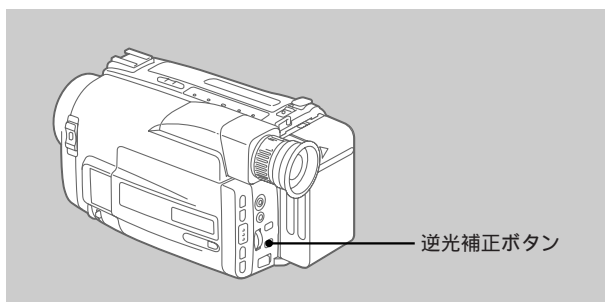
ピクチャーエフェクトを解除する

ピクチャーエフェクトボタンを押して、ピクチャーエフェクト表示を消す。

使いこなす

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき。
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。

被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

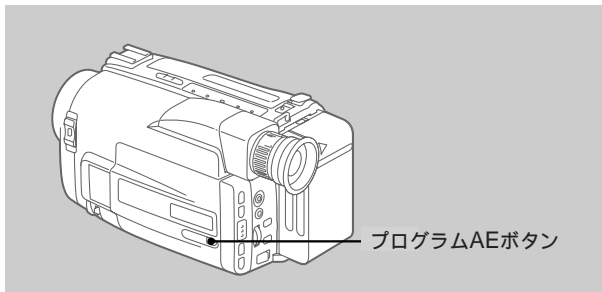
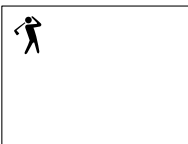
逆光補正ボタンをもう一度押して、逆光補正表示を消す。

目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポーツモード
運動会やテニス、スキーなどの動きの速い被写体のブレをおさえた撮影ができます。電車から外の風景を撮るときや、パンニングなどにも適しています。

高速シャッタースピードモード
ゴルフスイングなどの速い動きをくっきり撮れるので、スイングチェックなどに便利です。高速シャッターのため、鮮明な撮影には強く明るい光源が必要です。

夜景モード
夜景や花火、ネオンサインなど暗い場所で明るい被写体を撮るときに、色とびをおさえます。ある程度暗い場所での撮影に効果があります。

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
プログラムAEボタンを押して、希望のプログラムAEモード表示を出す。

次の順で変わります。
スポーツモード→高速シャッタースピードモード→夜景モード→表示なし

プログラムAEを解除する

プログラムAEボタンを押して、プログラムAEモード表示を消す。

使いこなす

手動でピントを合わせる

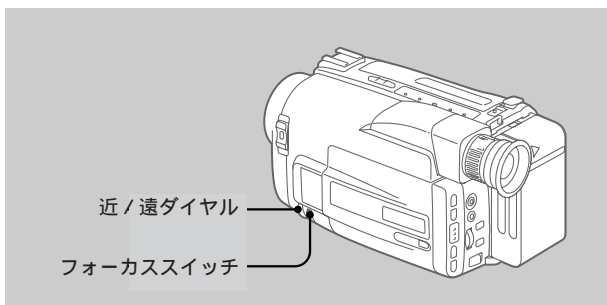
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき。

こんなときに使うと効果的です。
- 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
- 被写体が横縞だけのもののとき
- 被写体と背景とのコントラストが低いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

暗い室内で撮るときや明るい野外で動きの激しいものを撮るとき
手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
フォーカススイッチを「手動」にする。
手動ピント合わせ表示が出る。

❷ **近／遠ダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻すとき

フォーカススイッチを「自動」にする。

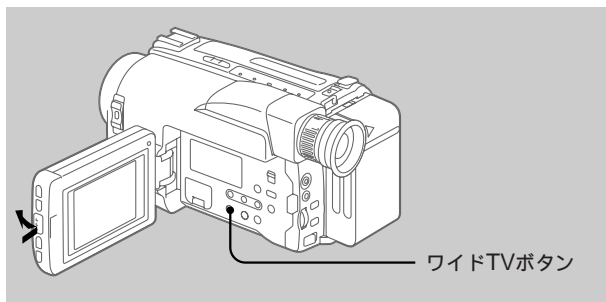
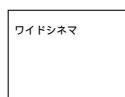
横長の画面にする – ワイドTVモード

再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき
- ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき

電源をはずして5分以上たつと
ワイドTVモードは解除されます。

日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の字になります。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。

[撮影スタンバイ中] に、**ワイドTVボタンを押して、希望のワイドTVモード表示を選ぶ。**

ワイドシネマ

押すたびに変わります
ワイドシネマ→ワイドフル→（表示なし）

ワイドTVモードを解除する

ワイドTVボタンを押して、ワイドTVモード表示を消す。

タイトルを入れる

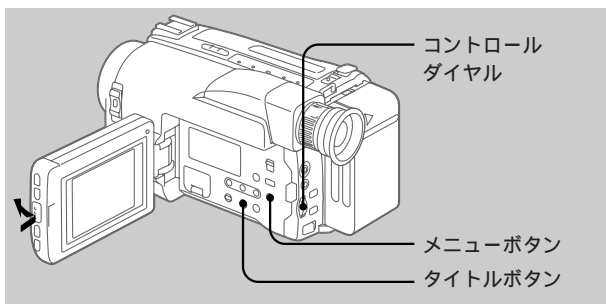
撮影中にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと自分で作ったタイトル2種類（30ページ）の中から内容にあったものを選べます。また、タイトルの表示位置も選べます。

タイトルの表示順
自分で作ったタイトル1→
自分で作ったタイトル2→
入学式→卒業式→
たんじょうび→
運動会→発表会→夏休み→
祝→完.....
「完」が表示されたあと、1回タイトル表示が消え、「自分で作ったタイトル1」に戻ります。

「自分で作ったタイトル」は
作っていないときには表示されません。

撮影中は
タイトルを選べません。

タイトルと日付・時刻は
同時には記録できません。

タイトルを入れて撮影しているときは
メニューを出すとメニューが出ている間はタイトルが記録されません。

撮影の始めから入れるとき

❶ ［撮影スタンバイ中］に
タイトルボタンを繰り返し押して、入れたいタイトルを表示させる。
タイトルが点滅している間に繰り返し押して選びます。点滅から点灯に変わると決定です。

❷ **撮影を始める。**

❸ **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**

次のページへつづく

撮影の途中でタイトルを入れるとき

❶ [撮影スタンバイ中] に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。

❷ **タイトルが点滅から点灯に変わったら、タイトルボタンを押してタイトルを消す。**

❸ **撮影を始める。**

❹ **タイトルを入れたい場面でタイトルボタンを押す。**

❺ **タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう一度押す。**

タイトルの位置を変える

1 [撮影スタンバイ中] にメニューボタンを押す。

2 コントロールダイヤルを回して、「タイトル位置」を選び、ダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して、「センター」か「下」を選び、ダイヤルを押す。

「センター」のとき　　「下」のとき

4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

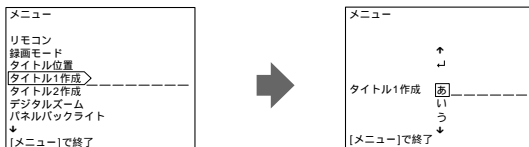
タイトルを作る

10文字以内のタイトルを自分で作って2種類まで本機に記憶できます。

カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
それまで作成したタイトルは残っています。一度スタンバイスイッチを下げてからもう一度上げて、はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときはカセットを取り出しておけば電源は切れません。

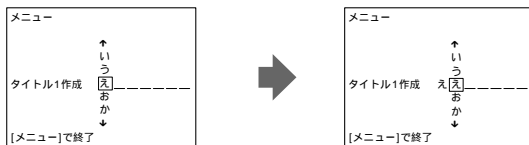
1つ左の文字に戻すには
文字の途中にある「←」を選びます。

❶ [撮影スタンバイ中] に
メニューボタンを押す。

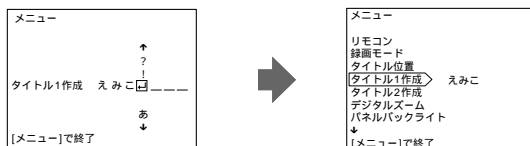
❷ **コントロールダイヤルを回して、「タイトル1作成」または「タイトル2作成」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ **コントロールダイヤルを回して、文字を選び、ダイヤルを押す。**

ひらがな↔数字↔アルファベット↔ー↔？↔！↔ ↵ ↔□（空白）の順に出ます。

次の文字に移る。

次のページへつづく

手順4で、作ったタイトルが10文字になると
その時点でタイトルが記憶されます。（手順5は不要です。）

❹ 手順3を繰り返して希望のタイトルを作る。

❺ コントロールダイヤルを回して、「↵」を選び、ダイヤルを押す。

タイトルが記憶される。

❻ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

作成したタイトルを消す

左端の文字で「↵」を選び、ダイヤルを押す。
空白を選んで消さないでください。空白のタイトルとして記憶されます。

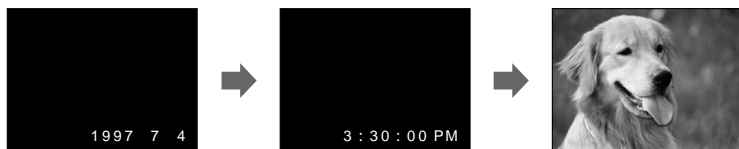
作成したタイトルを変更する

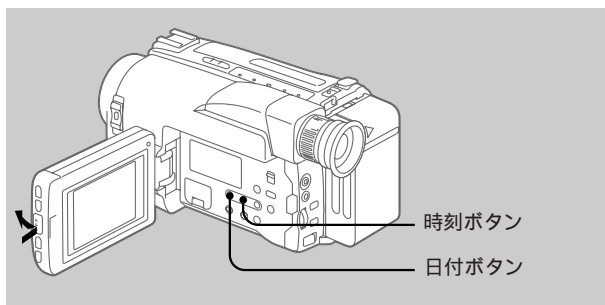
作成するときと同じ手順で文字を選び直す。手順2ですでに作成されているタイトルが表示される。

希望の文字で「↵」を選びダイヤルを押すと、それより右の文字は消えて記憶される。

撮影中に日時を記録する

日付・時刻を画像にかさねて記録します。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。

ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。

ご注意

- 日付と時刻は、同時に記録できません。
- タイトルと日付・時刻は、同時に記録できません。
- 手動で記録した日時は消せません。

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に

日付を入れる→日付ボタンを押す。

時刻を入れる→時刻ボタンを押す。

表示を消すとき

もう一度押す。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

再生側

録画側

テレビ

VIDEO OUT端子へ

入力

映像入力へ

◎ 映像

ビデオ

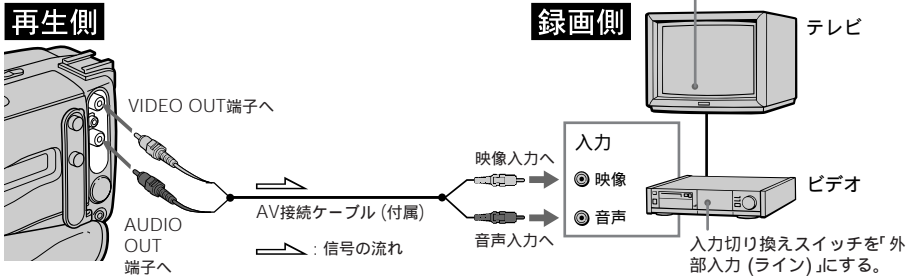
AV接続ケーブル (付属)

◎ 音声

AUDIO OUT 端子へ

: 信号の流れ

音声入力へ

入力切り換えスイッチを「外部入力 (ライン)」にする。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。

8、Hi8、VHS、VHS C、S VHS、S VHS C、β

ビデオ音声入力がステレオの場合

AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグを、ビデオの音声入力左（白い端子）だけにつなぎます。

ファインシンクロエディット対応

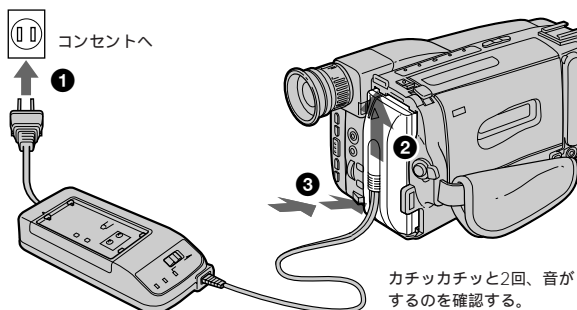
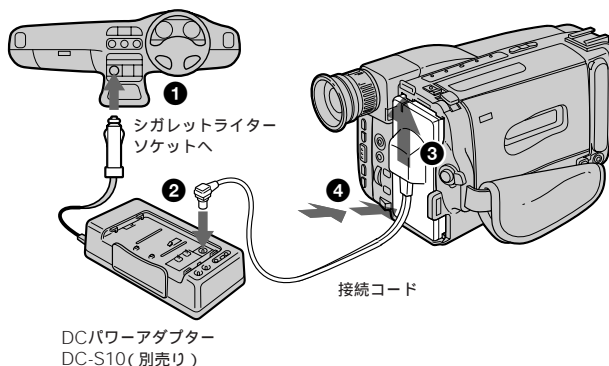
本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のLANC端子 (51ページ) をLANCケーブル（別売り）でつなげば、より精度の高い編集ができます。

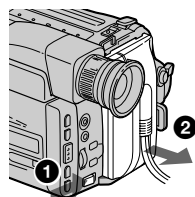
本機を録画機として使い、他のビデオやテレビの画像を録画することはできません。

1. **本機に撮影済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。**
2. **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**
3. **本機のテープを再生し、他のビデオに録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。**
4. **録画機を録画一時停止状態にする。**
5. **本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。**

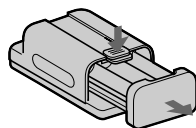
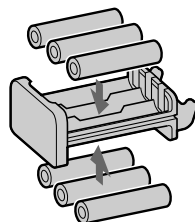
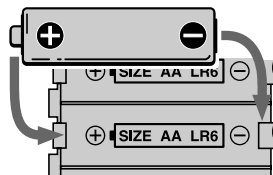
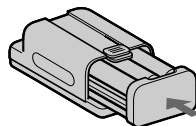
バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど長時間使用すると
きは、家庭用のコンセントや自動車の電源を
使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

コンセントにつないで使う

自動車電源につないで使う

接続プレートを取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押し
ながら、接続プレートの下部を手前
に引く。

乾電池を交換するときは
必ず本体からバッテリーケースをはずしてから交換してください。故障の原因となります。

アルカリ乾電池で使う

❶ 付属のバッテリーケースからホルダーを引き出す。

❷ 単3形アルカリ乾電池（別売り）6本を⊕と⊖の向きを正しく入れる。

❸ ホルダーをバッテリーケースに入れる。

❹ バッテリーと同様に、本機に装着する。

取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押してから、バッテリーと同様にはずす。

使用時間の目安

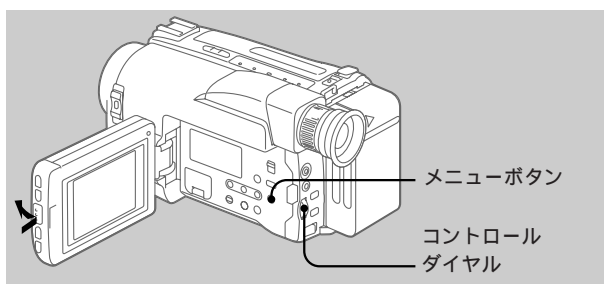
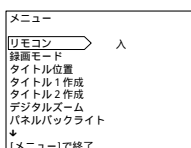
ソニー・エナジーテック製のアルカリ乾電池を使った場合

ビューファインダーで撮影		液晶画面で撮影		液晶画面での
連続撮影時	実撮影時	連続撮影時	実撮影時	再生時間
3時間	1時間40分	1時間55分	1時間5分	1時間55分

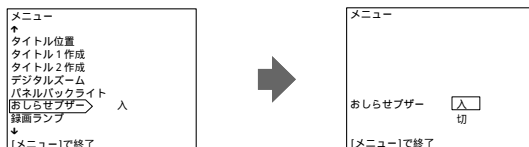
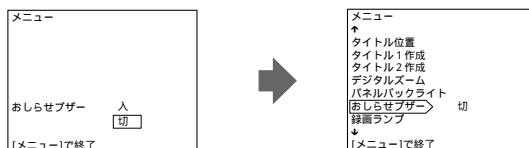
約25 Cで測定した時間です。使用状況によっては短くなることがあります。

メニューで設定を変える

ご注意

対面撮影中は、液晶画面およびファインダーにメニュー画面が出ません。

❶ **メニューボタンを押す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。**

希望の項目だけが表示される。

❸ **コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。**

❹ **必要なだけ手順2、3を繰り返す。**

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

次のページへつづく

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	通常はこの位置へ。
	切	リモコンが働かない。	他機のリモコンによって誤動作するときなど。
パネルバックライト※	明るさノーマル	ー	通常はこの位置へ。
	●明るい	液晶画面を明るくする。	液晶画面が暗いとき。
おしらせブザー	●入	撮影スタート／ストップ時や誤った操作をしたときにブザーが鳴る。	通常はこの位置へ。
	切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき。

※「明るい」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。

電源をはずして5分以上たつと
「リモコン」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は、ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても設定を保持しています。

使いこなす

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	通常はこの位置へ。
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。	長時間録画したいとき。
タイトル位置	●センター	タイトルを出す位置を選ぶ。	→詳しくは29ページ。
	下		
タイトル1作成		自分でタイトルを作って本機に記憶させる。	→詳しくは30ページ。
タイトル2作成			
デジタルズーム	●入	ズームが15倍を超えるとデジタルズームが働く。（60倍まで）	通常はこの位置へ。
	切	デジタルズームを使用しない。（ズームは15倍まで）	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき。
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	通常はこの位置へ。
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。	被写体に撮影していることを意識させたくないとき。
オートデート	●入	撮影時の日付を撮影開始10秒間だけ記録する。	通常はこの位置へ。
	切	撮影時の日付を記録しない。	—
日時あわせ			時計を合わせ直すとき。 →詳しくは39ページ。
デモモード	●入	デモンストレーションを表示する。	本機の機能を一覧するとき。
	切	デモンストレーションを表示しない。	デモンストレーションを表示したくないとき。

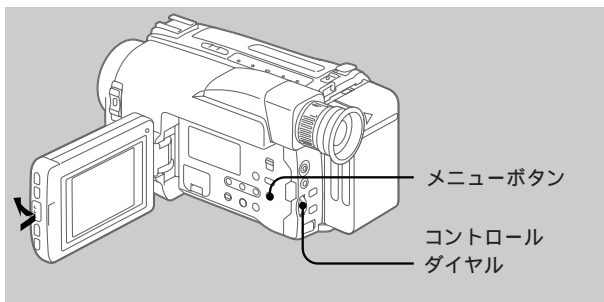
LPモードについて
本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。
他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキで再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキのLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

デモンストレーションは
- カセットが入っている場合はメニューで入／切ができません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」に設定されています。
  カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にすると約10分後にデモンストレーションが始まります。
- すぐに見るには、カセットを取り出してメニューで「入」を選び、メニュー画面を消します。電源を切ると自動的に「スタンバイ」に戻ります。
- カセットを入れると、デモンストレーションが中断されます。通常の撮影には影響ありません。デモンストレーションの設定は自動的に「スタンバイ」に戻ります。

日付・時刻を合わせ直す

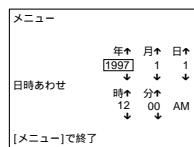
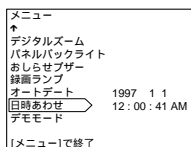
お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。

ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

- 海外に行くとき
- 電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき

年→月→日→時→分の順で合わせます。

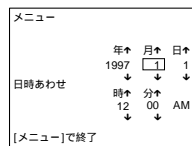
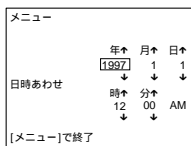
❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押す。

❷ **コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、ダイヤルを押す。**

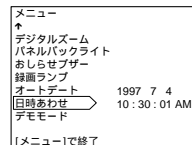
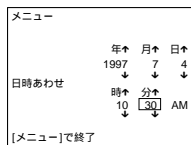
使いこなす

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❸「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

❹手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❺「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。

❻メニューボタンを押す。

メニュー画面が消え、時刻表示が出る。時刻表示を消すには、時刻ボタンを押す。

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。

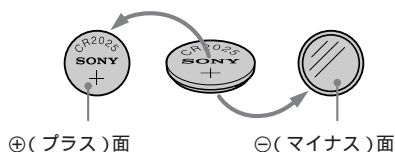
時刻を確認する→時刻ボタンを押す。

もう一度押すと消える。

ボタン型リチウム電池を交換する

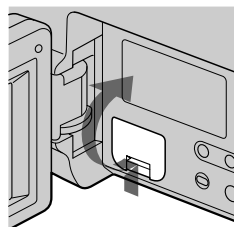
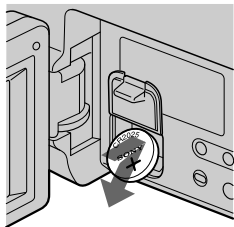
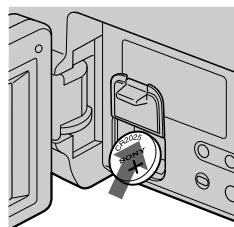
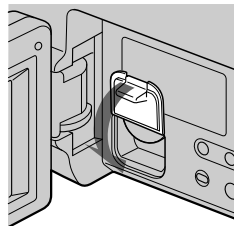
電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入／切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

電源スイッチを「カメラ」にするとファインダーに「ボタン型リチウム電池を取りかえてください」のメッセージが出るとき。

ボタン型リチウム電池について

- ボタン型のリチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は
1年もたないことがあります。

❶ 液晶画面を開け、ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。

❷ ボタン型リチウム電池を押し上げながら、引き出す。

❸ 新しいボタン型リチウム電池CR2025**を⊕ (プラス) 面が見えるようにはめ込む。**

❹ ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。

その他

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはCCD-TRV513Kテクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にお問い合わせください。

ファインダーに見慣れない表示が出たときは、45ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	12
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいテープを入れる。	10、20
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	10
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	46
すぐに撮影が止まる。	スタート／ストップモードスイッチが「↓」または「5秒」になっている。	スタート／ストップボタンを押すごとに撮影を始める／止めるようにするときは、「⮍」にする。	14
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	一度スタンバイスイッチを下げてから、もう一度上げる。	13
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	11
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•フォーカススイッチを「自動」にする。	26
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	26
フェーダーボタンが働かない。	スタート／ストップモードスイッチが「5秒」または「↓」になっている。	「⮍」にする。	14、22

次のページへつづく

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	46
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	15
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。	—	—
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではない。	—	—
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。 デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	38
ビデオ操作ボタンが働かない。	•電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 •テープが終わりになっている。	•「ビデオ」にする。 •テープを巻き戻す。	18 20
画像がぼけたり、映らなかったりする。	•テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 •ビデオヘッドが汚れている。	•調整し直す。 •別売りのクリーニングカセットできれいにする。	— 46
音声が小さい、または聞こえない。	音量を最小にしている。	音量を大きくする。	19

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差し込む。	8、9 34
エンドサーチが働かない。	•撮影後にカセットを取り出した。 •カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、一度も撮影していない。	— —	17
バッテリーの消耗が早い。	•温度が極端に低いところで撮っている。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	— •充分に充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	— 8 —
カセットが取り出せない。	•電源（バッテリーやACパワーアダプター）がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	9、34 8、9
💧や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	46

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。 •リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 •リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 •乾電池そのものの寿命。	•「入」にする。 •障害物を取り除く。 •⊕極と⊖極を正しく入れる。 •新しい乾電池に交換する。	37 — 53 53
日付または時刻表示が「--:--」になる。	—	日付、時刻を合わせ直す。	39

警告表示とお知らせメッセージ

ファインダーには、次のような表示が出ます。お知らせメッセージはファインダーまたは液晶画面に出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。

•対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。

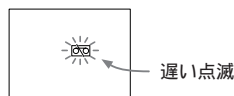
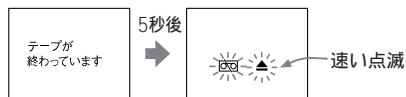
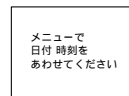
•表示は実際には白色です。

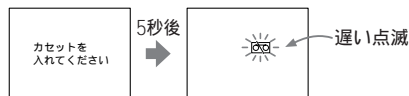
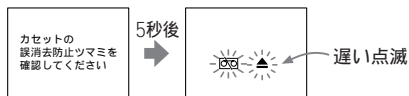
•♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

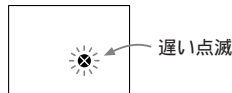
バッテリー残量表示について

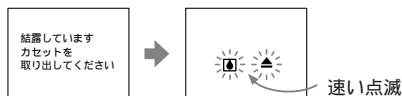
(残量表示が▭になるとファインダーや液晶画面に▭マークが点滅する。)

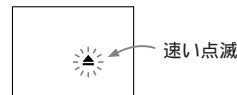
テープ残量

♪テープの終わり

日時・時刻の未設定(39ページ)

ボタン型リチウム電池の消耗／ボタン型リチウム電池が入っていない(41ページ)

♪カセットが入っていない

♪カセット誤消去防止(10ページ)

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ(46ページ)

対面撮影時

クリーニングカセットできれいにする。

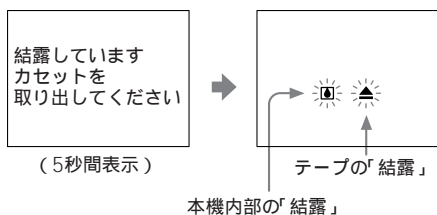
結露(46ページ)

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れ、カセット取出しスイッチを押しながらずらす。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

その他

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーや液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。

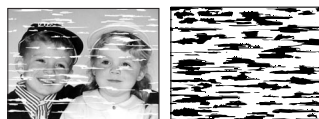
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLHを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

初期 → 末期

このような画像になったら、
クリーニングカセットをお使いください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

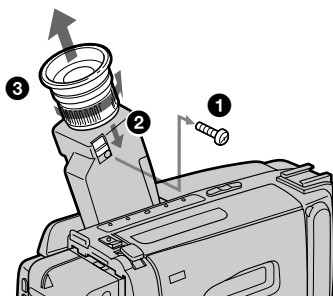
結露が起こりやすいのは
次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは
長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

次のページへつづく

ビューファインダーをきれいにする

1 ❶ネジをはずす。❷つまみをずらしながら、❸接眼部を回してはずす。

2 カメラ用のブロワーブラシなどで、ゴミを取り除く。

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャン FM方式（SP/LP独立ヘッド）
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画／再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間（P6-120使用時）
早送り、巻き戻し時間	約5分（P6-120使用時）
撮像素子	CCD固体撮像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー（白／黒）
レンズ	15倍ズームレンズ f=4.1〜61.5mm（35mmカメラ換算では47〜705mm） F1.4〜2.4 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	2ルクス（F1.4）
被写体照度範囲	2〜100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

VIDEO OUT（映像出力）端子	
	ピンジャック（1） 75Ω不平衡
AUDIO OUT（音声出力）端子	
	ピンジャック（1） 327mV (47kΩ負荷時) インピーダンス　2.2kΩ以下
RFU DC OUT（出力）端子	
	特殊ミニジャック DC5V
イヤホン端子	ミニジャック (Ø3.5)
LANC端子	ステレオミニミニジャック (Ø2.5)
MIC（PLUG IN POWER）（マイク入力）端子	
	ミニジャック 0.388mV、低インピーダンスマイク用 DC2.5〜3.5V、出力インピーダンス6.8kΩ（Ø3.5）

液晶画面

画面サイズ	3.5型
有効画面領域	72.4mm × 50.38mm (幅×高さ)
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	105,380ドット、横479×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力6.0V
消費電力	ビューファインダーを使ってのカメラ録画時：3.3W 液晶画面を使ってのカメラ録画時：4.6W
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	−20℃〜+60℃
最大外形寸法	115 × 110 × 205mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	約 960g（本体のみ）
撮影時総質量	約 1.3kg（バッテリー、ボタン型リチウム電池CR2025、テープP6-120含む）
内蔵マイクロホン	モノラル
内蔵スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ACアダプターAC-S15（1)、バッテリーNP-S1（1)、バッテリーケース（1)、120分8ミリビデオカセット (3)、ショルダーベルト（1)、キャリングバッグ（1)、三脚（1)、ワイヤレスリモコン（1)、単3形乾電池（リモコン用）(2)、AV接続ケーブル（1)、ボタン型リチウム電池CR2025 (本体に装着済み) (1)、撮り方ビデオ（1)、取扱説明書（1)、安全のために（1)、保証書（1)、ソニーご相談窓口のご案内（1)

ACパワーアダプター

電源電圧	AC100〜240V、50/60Hz
定格入力容量	23VA（充電100V時)、28VA（VTR100V時)、28VA（充電240V時)、36VA（VTR240V時）
定格入力容量	VTR動作時　DC7.5V、1.6A 充電時　DC10V、1.1A
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	−20℃〜+60℃
最大外形寸法	75 × 42.5 × 166mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	約 420g
電源コードの長さ	約 2m
本体接続コードの長さ	約 2m

バッテリーNP-S1

電圧	6V
容量	3200mAh
種類	ニッケル水素タイプ蓄電池

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、CCD-TRV513Kテクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。

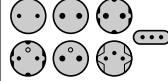
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-S15は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

停止　巻戻し　－再生－　早送り　一時停止

ビデオ操作ボタン
(18ページ)
電源スイッチを「ビデオ」にすると、ボタン部分が点灯します。

エディットサーチボタン
(17ページ)

アクセサリーシュー

レンズカバー
(12ページ)

録画ランプ
(13ページ)

リモコン受光部
(53ページ)

内蔵マイク

視度調節リング
(11ページ)

ビューファインダー
(11ページ)

表示窓 (54ページ)

キャリングバッグ（付属）に入れるとき

ショルダーベルト（付属）の取り付けかた

日付ボタン
(32ページ)
スピーカー
(19ページ)
ボタン型リチウム電池入れ
(41ページ)
録画ランプ
液晶画面
(15ページ)
ワイドTV
ボタン
(27ページ)
タイトルボタン
(28ページ)
エンドサーチボタン
(17、20ページ)
時刻ボタン
(32ページ)
画面表示ボタン
(19ページ)
ズームレバー
(14ページ)
スタート／ストップ
モードスイッチ
(14ページ)
ピクチャーエフェクト
ボタン
(23ページ)
メニューボタン
(36ページ)
カウンターリセット
ボタン
(13ページ)
アイカップ
(6ページ)
液晶ロック解除ボタン
(15ページ)
電源スイッチ
(12ページ)
近／遠ダイヤル
(26ページ)
フォーカススイッチ
(26ページ)
プログラムAEボタン
(25ページ)
音量ボタン
(19ページ)
液晶画面明るさボタン
(15ページ)
LANC (リモート)
端子
スタンバイスイッチ
(12ページ)
スタート／ストップ
ボタン
(13ページ)
イヤホン端子
バッテリー取り外し
ボタン
(9ページ)
コントロールダイヤル
(36ページ)

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

アイカップ取りはずしつまみ
(47ページ)

カセット取出しスイッチ
(10ページ)

ショルダーベルト取り付け部
(50ページ)

フェーダーボタン
(22ページ)

逆光補正ボタン
(24ページ)

バッテリー取り付け部
(9ページ)

グリップベルト
(6ページ)

カセット入れ
(10ページ)

RFU DC OUT**端子**
(21ページ)

VIDEO OUT**端子**
(21ページ)

AUDIO OUT**端子**
(21ページ)

MIC (PLUG IN POWER) **端子（ミニジャック）**

三脚用ネジ穴（底面）
(7ページ)
付属の三脚を取り付けます。詳しくは付属の「三脚の使いかた」をご覧ください。
それ以外の三脚の場合は、ネジの長さが6.5mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

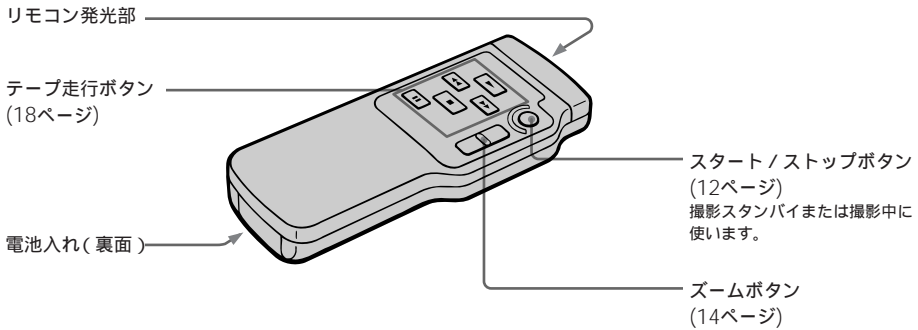
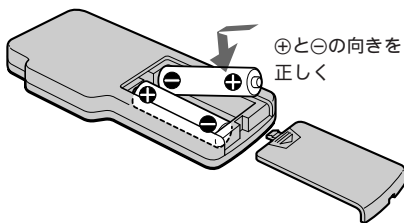
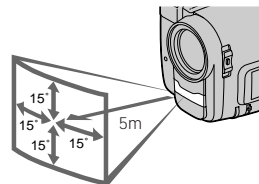
LANC⏚ (リモート) マークについて
⏚は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

イヤホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合
MIC (PLUG IN POWER) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。

この純正マークは、ソニー（株）のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は，純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

リモコンの操作範囲

操作範囲は室内で使用したときの値です。

その他

次のページへつづく

リモコンについて
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

デモンストレーションについて
メニューで設定しますが以下の手順でもデモンストレーションが見られます。
1. カセットを取り出して、電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
3. ▷再生ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

デモンストレーションが出ないようにするには
1. 電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
3. □停止ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

ファインダーと液晶画面の表示

ズーム表示 (14ページ)

手動ピント合わせ表示
(26ページ)

プログラムAE表示
(25ページ)

逆光補正表示
(24ページ)

フェーダー表示
(22ページ)

ワイドTV表示
(27ページ)

ピクチャーエフェクト表示
(23ページ)

液晶画面明るさ調節表示
(15ページ) ／
音量調節表示 (19ページ)

警告表示 (45ページ)

対面撮影モード表示
(15ページ)

SP/LP録画モード表示
(13ページ)

撮影スタンバイ・
撮影中表示 (12ページ)
テープ走行表示 (18ページ)

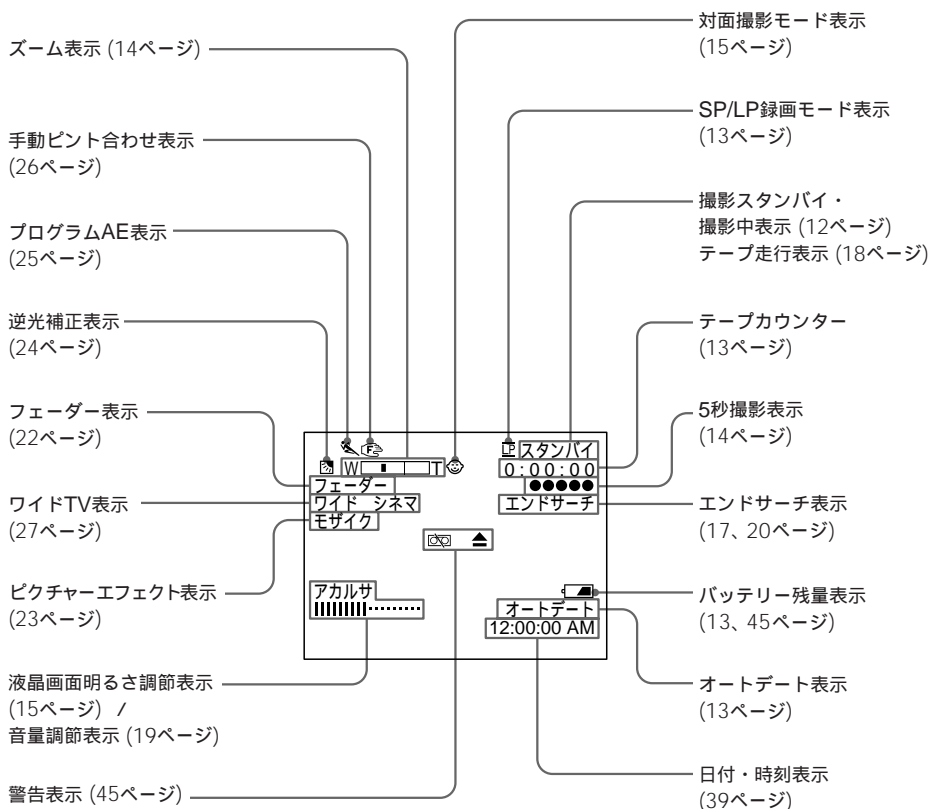
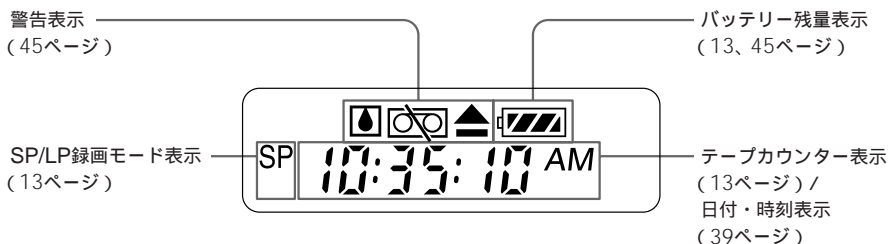
テープカウンター
(13ページ)

5秒撮影表示
(14ページ)

エンドサーチ表示
(17、20ページ)

バッテリー残量表示
(13、45ページ)

オートデート表示
(13ページ)

日付・時刻表示
(39ページ)

表示窓の表示

用語解説

カ行

逆光補正 …24ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ…12ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。スタンバイスイッチを上げ、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

自動ピント合わせ…26ページ
横方向に走査する映像信号からピントを検出する機能。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがある。

視度調節…11ページ
ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

ナ行

ノイズ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …25ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には3種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド…46ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード…53ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3の3種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード…27ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類ある。

ワイドシネマ
横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。

ワイドフル
横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

用語解説（つづき）

アルファベット順

Hi8（ハイエイト）方式…10**ページ**

スタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式。Hi8方式で録画されたテープはHi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できない。
本機はHi8方式対応ではありません。

LP/SP（エルピーエスピー）**モード** …13**ページ**

Long（ロング） playing（プレイング） mode（モード）とStandard（スタンダード） playing（プレイング） mode（モード）の略でテープスピードモードの名称。
LPモードはSPモードの録画時間の2倍になる。

NTSC（エヌティーエスシー）**方式**…49**ページ**

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL（パル）やSECAM（セカム）方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

RFU（アールエフユー）**アダプター**…21**ページ**

ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換して、テレビの1または2チャンネル（国内仕様の場合）で再生できるようにするもの。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

その他

こんなときはこの機能

撮影状況に合わせたい

明るい
　白い服の人物が白い壁の前にいる
　　→逆光補正（24ページ）
　背後に光があり顔が暗くなる
　　→逆光補正（24ページ）
暗い
　夜景、夕景、花火
　　→夜景モード（25ページ）
被写体の動きが速い
　ゴルフスイングなど
　　→スポーツモード、高速シャッター
　　　スピードモード（25ページ）
　列車から窓の外を撮る
　　→スポーツモード（25ページ）

画像をこうしたい

効果的な場面転換をしたい
　→フェードイン、フェードアウト（22ページ）
意図的にピントを合わせたい
　→手動ピント合わせ（26ページ）
映画のように横長の画像にしたい
　→ワイドTVモード（27ページ）
タイトルを出したい
　→タイトル機能（28ページ）
画像にデジタル処理をしたい
　→ピクチャーエフェクト（23ページ）
日時を記録したい
　→日時を記録する（32ページ）

保証期間中の故障に関するお問い合わせは

CCD-TRV513K
テクニカルインフォメーションセンターへ
0120-28-8089（フリーダイヤル）

ご相談になるときは次のことをお知らせください

● 型名：CCD-TRV513K
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ年月日

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

Printed in Japan